

平成 29 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業J-T	事業名	
一般	06	01	05	16426001	農村施設維持事業	
総合計画	分野	しごと				
	政策	1-1	農林業の振興			
	施策	1	農業生産の支援			
目的	農村施設の快適な利用及び観光客を対象に農畜産物の消費拡大を図るための環境整備					
対象	農村施設					
意図	施設の長寿命化を図り、施設利用者の安全・安心を確保する					
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること						
○ホテルベルンドルフ屋根改修 17,350千円 ・屋根改修設計業務委託 994千円 ・屋根改修工事監理業務委託 626千円 ・屋根改修工事 15,730千円						
○大迫ふるさとセンター耐震診断 1,566千円						
市民参画の有無 【 対象外 】						
市民協働の形態		共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定		
		後援・協賛	補助・助成	委託		
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
①	施設改修工事件数	件	計画	1	1	
			実績	1	1	
②			計画			
			実績			
③			計画			
			実績			
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
①			目標			
			実績			
②			目標			
			実績			
③			目標			
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		<input type="radio"/>	概ね目標値どおり		目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
/		
目的妥当性	公共関与の妥当性 <input type="radio"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="radio"/> 妥当でない	・市が所有する施設であり、主体的に維持管理を実施する必要性がある。
有効性	成果の向上余地 <input type="radio"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない	・大規模改修を行うことにより長寿命化が図られ、ある程度の補修の抑制が期待できる。
効率性	事業費・人件費の削減余地 <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <input type="radio"/> どちらも削減余地がない	・現場の実態に合わせた工法等を検討しており、現場によっては代替性が乏しいことから、削減の余地はない。また、限られた人員の中で現場等との調整を図る必要性があり、人件費についても削減の余地はない。
公平性	受益と負担の適正化余地 <input type="checkbox"/> 受益機会の見直し余地がある <input type="checkbox"/> 費用負担の見直し余地がある <input type="radio"/> 適正である	・施設利用者の安全、安心の確保のために行う維持管理であることから適正である。
総合評価 …上記評価結果の総括		
観光客等の施設利用者の安全、安心を確保するため、施設の現況を把握し、老朽化による破損及び危険箇所等については改修を進める必要がある。 また、施設の効率的運営のため、適切な維持管理により施設の長寿命化を図る必要がある。		

平成 29 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

担当部署 部名 大迫総合支所 課名 地域振興課 担当係長 吉田 幸弘 内線 9-20-165

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

(単位：千円)

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	06	01	05	16426001	農村施設維持事業

単位：千円

		28年度 決算額(A)	29年度 決算額(B)	30年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		21,512	18,916		△ 2,596
財源 内訳	国・県				
	地方債	21,500	18,900		△ 2,600
	その他				
	一般財源	12	16		4

※特定財源の内訳

過疎対策事業債 18,900千円

事業期間 ○ 単年度繰返 期間限定 [平成 年度 ~ 平成 年度]

部経営方針における目標

観光資源の充実
大迫地域への観光客の増加を図るため、施設等の整備活用を図る。

事業開始の背景・経緯

- 観光客に対するおもてなしの向上を図るため、観光施設の良好な維持管理を行う必要がある。
- 観光施設の経年劣化があり、長寿命化を図る大規模改修の必要がある。

事業概要

- 農村施設の現況把握
- 改修を必要とするか、修繕で対応するか等の検討
- 施設の耐用年数を延ばす大規模改修の時期の検討
- 農村施設の大規模改修の実施

意見・要望等の状況（市政懇談会や支所執務、議会答弁対応その他意見・提言等）
改修にあたり、施設利用への影響を極力減らすよう配慮が必要である。

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

【現状】

施設の経年劣化による老朽化
・雨漏りの発生
・設備等の老朽化による破損



・観光客のイメージ悪化
・施設利用者の満足度低下
・安全、安心への懸念



小規模修繕での対応

⇒対応完了

小修繕での対応が不可
小修繕対応では後年度に負担増



【大規模改修の実施】

H27 ○ワインシャトー大迫改修事業（H28繰越） 80,621千円

H28 ○大迫森のくにセンター屋根改修工事 21,512千円

H29 ○ホテルベルンドルフ屋根改修工事 17,350千円

（設計費 994千円
監理費 626千円
工事費 15,730千円）

○大迫ふるさとセンター耐震診断 1,566千円

平成 29 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	07	01	03	174320	観光イベント開催事業	
総合計画	分野	しごと				
	政策	1-4	観光の振興			
	施策	1	観光の魅力向上			
目的	地域資源の保全と魅力アップを図るため、まつりやイベントの開催を支援する。					
対象	まつりやイベント					
意図	まつりやイベントが守られ魅力が向上する。					
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること						
まつり、イベントの開催経費の一部を負担する。 ①南部杜氏の里まつり、②田瀬湖湖水まつり、③イーハトーブ音楽祭、④石鳥谷夢まつり、⑤あんどんまつり、⑥イーハトーブフォーラム、⑦石鳥谷まつり、⑧花巻まつり、⑨花巻まつり特産品フェア、⑩土沢まつり、⑪大迫ワインまつり、⑫わんこそば全日本大会(第60回記念事業を含む)、⑬大迫・宿場の雛まつり 合計 62,200千円						
市民参画の有無 【 対象外 】						
市民協働の形態		共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定		
		後援・協賛	補助・助成	委託		
活動指標 (上記「事業概要」に対応)		単位	区分	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
①	支援対象祭事、イベント支援団体数	団体	計画	13	13	
			実績	13	13	
②			計画			
			実績			
③			計画			
			実績			
成果指標 (上記「意図」に対応)		単位	区分	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
①	支援対象祭事、イベントへの入込数	人	目標	301,500	320,000	
			実績	321,751	315,281	
②			目標			
			実績			
③			目標			
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		<input type="radio"/>	概ね目標値どおり		目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)	
イベント等に支援をすることで、開催が継続されたほか、関係団体と一体となり情報発信等に努めたことで、入込数の増減はイベントによって異なるが、概ね平年並みに推移している。対前年比が減のイベントでも、他の行事と日程が重なった場合や雨天によるケースなどであり、全体として集客目標は概ね達成できたと言える。	
目的妥当性	公共関与の妥当性 <input type="radio"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない ・まつりやイベント開催は民間主導で行われるべきものである。 ・まつり等を観光誘客の場として活用していることから、観光振興を図るため行政による支援を行うものである。
有効性	成果の向上余地 <input type="radio"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない 適切な助言を行うことにより魅力を向上させることができる。
効率性	事業費・人件費の削減余地 <input type="radio"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <input type="checkbox"/> どちらも削減余地がない 支援形態の検証を通じ事業費の削減を検討していく。
公平性	受益と負担の適正化余地 <input type="checkbox"/> 受益機会の見直し余地がある <input type="checkbox"/> 費用負担の見直し余地がある <input type="radio"/> 適正である まつりやイベントへの市民が参加する機会は平等に与えられている。
総合評価 …上記評価結果の総括	
まつりやイベントが計画どおり実施され、観光客入込数を維持することで、宿泊施設の利用や土産品の購入による経済効果があった。	

平成 29 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

担当部署 部名 商工観光部 課名 観光課 担当係長 似内 泉 内線 288

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

(単位：千円)

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	07	01	03	174320	観光イベント開催事業

単位：千円

		28年度 決算額(A)	29年度 決算額(B)	30年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		60,700	62,200		1,500
財源 内訳	国・県				
	地方債				
	その他		22,188		22,188
	一般財源	60,700	40,012		△ 20,688

※特定財源の内訳

イーハトーブ花巻応援寄附金（ふるさと納税） 22,188千円

事業期間 ○ 単年度繰返 期間限定 [平成 年度 ~ 平成 年度]

部重点施策における目標

国内外から多くの観光客を誘引し、賑わいを創出します

事業開始の背景・経緯

地域資源の保全と魅力アップを図り、観光誘客の場として活用する。

事業概要

まつり、イベントの開催経費の一部を負担する。

①南部杜氏の里まつり、②田瀬湖湖水まつり、③イーハトーブ音楽祭、④石鳥谷夢まつり、⑤あんどんまつり、⑥イーハトーブフォーラム、⑦石鳥谷まつり、⑧花巻まつり、⑨花巻まつり特産品フェア、⑩土沢まつり、⑪大迫ワインまつり、⑫わんこそば全日本大会(第60回記念事業を含む)、⑬大迫・宿場の雛まつり

合計 62,200千円

意見・要望等の状況（市政懇談会や支所執務、議会答弁対応その他意見・提言等）

・伝統保持と誘客拡大の取組みの両立

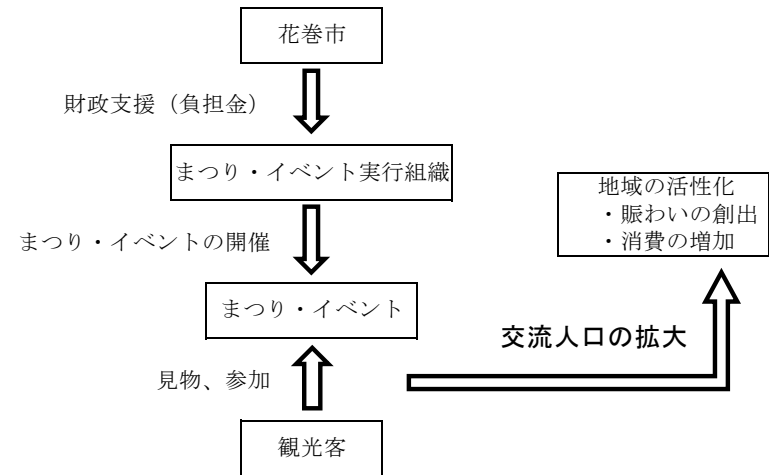
・実行団体から支援を求められており、地域活性化の根幹として地域住民の期待も大きい。

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

イベント名	事業費	金額	開催日	29入込数
① 南部杜氏の里まつり	1,156	400	5/27(土)	347
② 田瀬湖湖水まつり	7,216	4,400	7/22(土)～7/23(日)	5,200
③ イーハトーブ音楽祭	1,363	500	8/5(土)～8/6(日)	5,600
④ 石鳥谷夢まつり	14,385	5,000	8/13(日)	35,000
⑤ あんどんまつり	3,781	1,900	8/14(月)・8/16(水)	10,000
⑥ イーハトーブフォーラム	24,736	16,000	8/19(土)～8/20(日)	50,107
⑦ 石鳥谷まつり	7,242	4,600	9/8(金)～9/10(日)	30,000
⑧ 花巻まつり	34,543	18,600	9/8(金)～9/10(日)	107,000
⑨ 花巻まつり特産品フェア	5,186	1,000	9/8(金)～9/10(日)	44,127
⑩ 土沢まつり	2,881	2,400	9/16(土)～9/17(日)	3,000
⑪ 大迫ワインまつり	5,260	3,400	9/17(日)	12,000
⑫ わんこそば全日本大会(※)	5,504	3,300	H30/2/11(日祝)	5,900
⑬ 大迫・宿場の雛まつり	3,146	700	H30/2/23(金)～3/4(日)	7,000
合計	62,200			315,281

※ わんこそば全日本大会は第60回記念大会事業負担金(1,500千円)を含む
記念大会事業内容

国内外9か所での予選会の開催等
(函館・釜石・花巻・平塚・名古屋・大阪・コザ(沖縄)・香港・台湾)



平成 29 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業J-T	事業名	
一般	07	01	03	174330	広域観光推進事業	
総合計画	分野	しごと				
	政策	1-4	観光の振興			
	施策	1	観光の魅力向上			
目的	市内への誘客促進					
対象	観光客					
意図	花巻を訪れる機会が広がる					
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること						
○釜石線沿線活性化事業支援 400千円 釜石線沿線の自治体等が連携して、S L 銀河の運行を軸とした観光PRを行う釜石線沿線活性化委員会への負担金 ○産業観光パンフレット作製 351千円 近隣市町村と連携した広域的な産業観光(体験型観光)パンフレットの作製 ○体験型観光推進事業補助金 1,719千円 体験型観光推進事業の体験メニューを創出・強化する取り組みを支援 ○花巻・遠野・平泉観光推進協議会事業補助金 2,000千円 花巻・遠野・平泉観光推進協議会への事業補助						
市民参画の有無 【 対象外 】						
市民協働の形態		共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定		
		後援・協賛	補助・助成	委託		
活動指標 (上記「事業概要」に対応)		単位	区分	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
①	広域パンフレット発行部数	部	計画		10,000	
			実績		7,500	
②	体験型事業の改良と新規開発事業への支援件数	件	計画	10	4	
			実績	10	4	
③			計画			
			実績			
成果指標 (上記「意図」に対応)		単位	区分	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
①	広域(花巻・遠野・平泉)観光客入込者数(暦年)	万人	目標		584.4	
			実績	574.8	584.9	
②			目標			
			実績			
③			目標			
			実績			
成果指標の達成度	<input type="radio"/>	目標値より高い	概ね目標値どおり	目標値より低い		

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
花巻・遠野・平泉観光推進協議会を軸に、周遊観光を推進した結果、花巻、遠野、平泉を訪れる観光客数は、目標値を上回った。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	観光客入込みが伸び悩んでいる中、広域連携による旅行商品造成・観光PR等に必要な支援を行う必要がある。
	<input type="radio"/> 妥当である	
	<input type="radio"/> 見直し余地がある	
有効性	成果の向上余地	他地域との連携により観光地としての更なる魅力向上が見込まれる。
	<input type="radio"/> 向上余地がある	
	<input type="radio"/> 向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	一時、平泉への入込数が減少したことからツアー回数も減少したが、商談会等での積極的なPR活動等により増加してきたため、事業費が不足がちになっている。
	<input type="radio"/> 事業費の削減余地がある	
	<input type="radio"/> 人件費の削減余地がある	
公平性	受益と負担の適正化余地	観光振興は市全体が受益となる。
	<input type="radio"/> 受益機会の見直し余地がある	
	<input type="radio"/> 費用負担の見直し余地がある	
総合評価 …上記評価結果の総括		
集客力を向上させるため、広域連携による周遊観光を推進し、新たな広域観光ルートの造成とエリア内の魅力発信につながった。今後も新たな地域との連携や、新たな観光資源を活用して、更なる広域化を促進させる必要がある。		

平成 29 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

担当部署 部名 商工観光部 課名 観光課 担当係長 似内 泉 内線 288

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

(単位：千円)

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	07	01	03	174330	広域観光推進事業

単位：千円

		28年度 決算額(A)	29年度 決算額(B)	30年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		5,789	4,470		△ 1,319
財 源 内 訳	国・県	2,500	859		△ 1,641
	地方債				
	その他				
	一般財源	3,289	3,611		322

※特定財源の内訳 (国庫)地方創生推進交付金 859千円

事業期間	○	単年度繰返	期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	---	-------	------	-----------------

部重点施策における目標

国内外から多くの観光客を誘引し、賑わいを創出します

事業開始の背景・経緯

花巻温泉郷を中心とした宿泊受入基盤と広域的な観光資源の組み合わせによる観光誘客の相乗効果を発揮させる。

事業概要

- 釜石線沿線活性化事業支援 400千円
釜石線沿線の自治体等が連携して、S L 銀河の運行を軸とした観光PRを行う釜石線沿線活性化委員会への負担金
- 産業観光パンフレット作製 351千円
近隣市町村と連携した広域的な産業観光(体験型観光)パンフレットの作製
- 体験型観光推進事業補助金 1,719千円
体験型観光推進事業の体験メニューを創出・強化する取り組みを支援
- 花巻・遠野・平泉観光推進協議会事業補助金 2,000千円
花巻・遠野・平泉観光推進協議会への事業補助

意見・要望等の状況(市政懇談会や支所執務、議会答弁対応その他意見・提言等)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

- ① 釜石線沿線活性化委員会負担金 400千円
釜石線沿線自治体(花巻、遠野、釜石、住田)、J R 等が共同で実施する誘客事業に対し負担する。
(内容) ・S L 銀河の運行に合わせた誘客事業
・J R 東日本が作製するパンフレットへの広告掲載
・J R 釜石線を活用した旅行商品造成支援
- ② 産業観光パンフレット作製 351千円
近隣市町村と連携した広域的な産業観光(体験型観光)パンフレットの作製
(内容) ・北上市と共同で作製(P24)
・発行部数 1,000部
- ③ 体験型観光推進事業補助金 1,719千円
体験型観光の体験メニューを創出・強化する取り組み及び体験型事業の予約システムの展開を支援する。
(内容) ① 既存アクティビティの改良と新規開発支援(初期投資支援)
・カヤック体験、浴衣で散策など4メニューの造成及び改良に支援□
② 体験型事業広域予約システムの展開事業
・体験予約サイト「いわてのあそび」の運用展開に支援□
- ④ 花巻・遠野・平泉観光推進協議会事業補助金 2,000千円
花巻・遠野・平泉観光推進協議会への事業補助
(内容) 3市町を観光又は宿泊する旅行商品の造成支援、教育旅行誘致等により、3市町の魅力をPRした広域観光誘客事業を展開する。

平成 29 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業J-T	事業名	
一般	07	01	03	174380	観光施設維持事業	
総合計画	分野	しごと				
	政策	1-4	観光の振興			
	施策	1	観光の魅力向上			
目的	観光施設の快適な利用及びおもてなし向上のための環境整備					
対象	観光施設					
意図	観光施設を適切に維持管理し、施設の長寿命化と、利用者の安全・安心を確保する					
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること						
○観光施設の大規模改修の実施 24,666千円 同心屋敷（旧平野家）茅葺屋根葺き替え						
市民参画の有無 【 対象外 】						
市民協働の形態		共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定		
		後援・協賛	補助・助成	委託		
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
①	観光施設の大規模改修工事	件	計画	1	1	
			実績	1	1	
②			計画			
			実績			
③			計画			
			実績			
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
①	観光施設の維持修繕件数	件	目標	57	43	
			実績	35	44	
②			目標			
			実績			
③			目標			
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		○	概ね目標値どおり		目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)	
施設の大規模改修を行うことにより、軽微な修繕件数を減少させることから、平成27年度の修繕件数 48件の1割減 43件以下を目標値に設定している。修繕については年度によるばらつきはあるものの、概ね目標件数どおりであり、今後も効果的な維持管理を進めるうえで大規模改修も併せながら計画的に実施していく。	
目的妥当性	公共関与の妥当性 <input type="radio"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない ・市が所有する施設であり、主体的に維持管理を実施する必要がある。
有効性	成果の向上余地 <input type="radio"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない ・大規模改修を行うことにより長寿命化が図られ、ある程度の補修の抑制が期待できる。
効率性	事業費・人件費の削減余地 <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <input type="radio"/> どちらも削減余地がない ・現場の実態に合わせた工法等を検討しており、現場によっては代替性が乏しいことから、削減の余地はない。また、限られた人員の中で現場等との調整を図る必要性があり、人件費についても削減の余地はない。
公平性	受益と負担の適正化余地 <input type="checkbox"/> 受益機会の見直し余地がある <input type="checkbox"/> 費用負担の見直し余地がある <input type="radio"/> 適正である ・施設利用者の安全、安心の確保のために行う維持管理であることから適正である。
総合評価 …上記評価結果の総括	
観光客等の施設利用者の安全、安心を確保するため、施設の現況を把握し、老朽化による破損及び危険箇所等については改修を進める必要がある。また、施設の効率的運営のため、適切な維持管理により施設の長寿命化を図る必要がある。	

平成 29 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

担当部署 部名 商工観光部 課名 観光課 担当係長 畠山 英俊 内線 290

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

(単位：千円)

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	07	01	03	174380	観光施設維持事業

単位：千円

		28年度 決算額(A)	29年度 決算額(B)	30年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		25,780	24,666		△ 1,114
財源内訳	国・県				
	地方債				
	その他	25,780	21,000		△ 4,780
	一般財源		3,666		3,666

※特定財源の内訳

まちづくり基金(ふるさと納税寄附金) 21,000千円

事業期間	○ 単年度繰返	期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
部重点施策における目標			
観光資源の充実と発信力を高め、交流人口の拡大と観光客満足度の向上を図ります。			
事業開始の背景・経緯			
○観光客に対するおもてなしの向上を図るため、観光施設の良好な維持管理を行う必要がある。			
○観光施設の経年劣化があり、長寿命化を図る大規模改修の必要がある。			
事業概要			
○観光施設の大規模改修の実施 24,666千円 同心屋敷(旧平野家)茅葺屋根葺き替え			
意見・要望等の状況(市政懇談会や支所執務、議会答弁対応その他意見・提言等)			
改修にあたり、施設利用への影響を極力減らすよう配慮が必要である。			

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

【現状】

施設の経年劣化による老朽化
● 雨漏りの発生
● 設備等の老朽化による破損



- 観光客のイメージ悪化
- 施設利用者の満足度低下
- 安全、安心への懸念

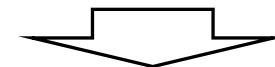
対応策

- ① 小規模修繕での対応
- ② 修繕対応不可
利用状況の低下
⇒ 後年度への懸念 ⇒ **解体撤去**

③ **大規模改修**

平成29年度

- 同心屋敷(旧平野家)茅葺屋根葺き替え
設計 1,296千円
工事 23,370千円
合計 24,666千円



- 利用者の満足度向上、安心感
- 観光客へのおもてなし